

# OLYMPUS VISION

第151期 中間株主通信

2018年4月1日～2018年9月30日

**OLYMPUS**

## トップインタビュー

主力の医療事業は堅調に推移。  
グローバルヘルスケアカンパニーとなるべく  
全社一丸となり、邁進してまいります。

代表取締役社長執行役員

笹宏行



### 当上半期の業績についてご説明ください

売上高は主力の医療事業が全社業績を牽引し、前年同期比で3%の増収となりました。営業利益は、証券訴訟の和解金や中国生産子会社に対する訴訟の引当金に加え、米国司法省による調査関連の引当金を計上したことにより、前年同期比で減益となりました。上半期は、様々な費用を計上しており、株主の皆様は不安を抱かれているかもしれません。しかし、経営を預かる身としては、当社が抱えていた不確定な要素について大分目処がついたと考えており、当社にとっては大きな前進だと捉えています。

#### → 前年同期比業績および為替の影響

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比
売上高	3,694億円	3,818億円	+3%
営業利益	374億円	30億円	△92%
親会社の所有者に 帰属する四半期損益	298億円	△55億円	—

医療事業は、売上高が前年同期比で6%増収、営業利益が1%減益となりました。内視鏡分野は、欧米での販売が堅調に推移し、中国を中心にアジア・オセアニア地域では高い成長を維持しました。外科分野は、北米においてシステムインテグレーション製品\*の売上が大幅に増加し、成長に大きく貢献しています。営業利益は前年並みの水準ですが、これは米国司法省より十二指腸内視鏡に関する調査を受けており、その状況に鑑み、引当金を計上したことによるものです。この影響を除けば、2桁増益を達成しています。

科学事業は、売上高が前年同期比で6%増収、営業利益が123%増益となりました。半導体、電子部品等の良好な市場環境を背景に、工業用顕微鏡や非破壊検査機器の販売が好調に推移しました。また、生物顕微鏡は予算執行が進み、北米・中国を中心に堅調に推移しました。

映像事業は、売上高が前年同期比で16%減収、営業損益が92億円の損失となりました。現在、より収益性の高い事業

\*手術室で使用する内視鏡システムや電気メス、複数のモニター等の機器を一括してコントロールするシステム

基盤を構築するため、映像製品の生産を中国からベトナムの子会社に移管しています。その費用が発生していることに加え、競合環境激化等の影響もあり、この上半期は減益となりました。この生産集約を着実に進め、オリンパスらしい小型かつ機動性の高い新製品を発売することで、来期以降の黒字化を実現してまいります。

## 通期の見通しを修正した理由について教えてください

通期の見通しにつきましては、米国司法省による調査関連の引当金を計上したこと、および映像事業の競争激化を踏まえた業績動向を考慮し、売上高および各段階利益を修正しました。医療事業の営業利益は1,270億円(前回公表比△80億円)、映像事業の売上高は500億円(前回公表比△100億円)、営業損失は130億円(前回公表比△60億円)となる見込みです。

## 中期経営計画“16CSP”の進捗状況を教えてください

9月に開催した「OLYMPUS Investor Day 2018」で発表した通り、16CSP最終年度にあたる2021年3月期の目標水準を見直しました。16CSP前半は、想定以上に各国の法規制の要求事項が高まり、当初期待した製品の市場導入に遅れが生じた影響で、期待通りに売上高を伸ばすことができませんでした。そのため、2021年3月期の売上高を8,400~8,800億円、営業利益を13~14%に変更しました。

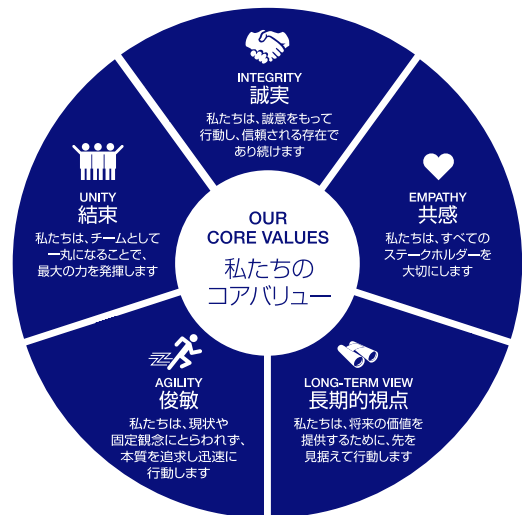
なお、16CSP当初の目標水準(売上高1兆円、営業利益率15%)は3年後ろ倒し、2024年3月期の達成を見込んでおります。今後、いずれの分野においても、確実に新製品を投入できるようしっかりと取り組んでまいります。

## 16CSPも後半に入っていますが、その先の展望を教えてください

当社は医療分野における世界のトップレベルのプレーヤーとなることを目指しています。社会や市場が急速に変化する中、現状や固定観念に捉われることなく、常に本質を追求し、迅速に行動していかなければ、グローバルにおける競争に勝ち抜くことはできません。そのためには、地域の壁を取り払い、全社共通の価値観や行動様式を明確にすることで、オリンパスグループのすべての従業員が一丸となって進むことが重要です。このような背景から、今年5月に経営理念を改定し、世界中の従業員と共有を図っております。確固たる価値観、進むべき方向が明確な会社は、持続的な成長ができると考えています。今後も経営陣および全従業員が一丸となり、16CSPの達成およびその先の目標であるグローバルヘルスケアカンパニーとなるべく、尽力してまいります。引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

OUR PURPOSE  
私たちの存在意義

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling  
世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現



## 「東証IRフェスタ2019」に出展します

オリンパスは、2019年2月22・23日に開催される個人投資家向けIRイベント「東証IRフェスタ2019」に出展します。IR担当者が当社の事業についてご説明し、ご来場のみなさまのご質問に直接お答えしますので、是非お越しください。

**東証IRフェスタ2019**

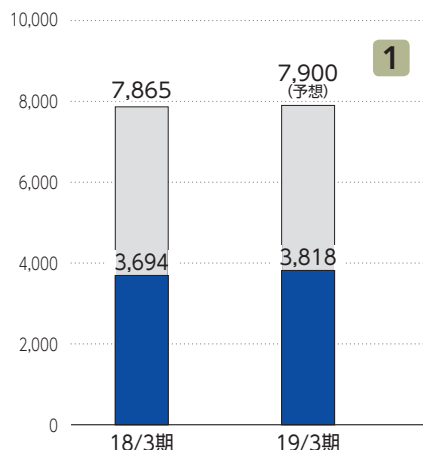
開催日時	2019年2月22日(金) 10:00~18:00 23日(土) 10:00~18:00
会場	東京国際フォーラム ホールE 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1
入場料	無料

## 業績の推移

■ 通期  
■ 上半期

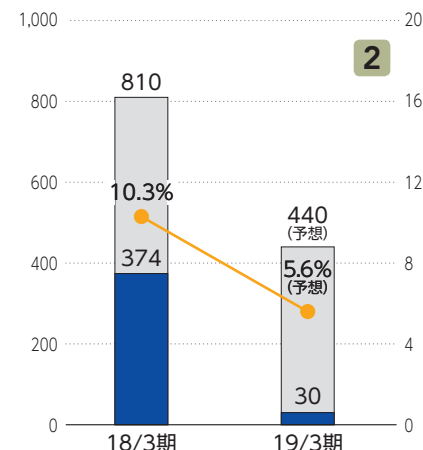
### 売上高の推移

(単位:億円)



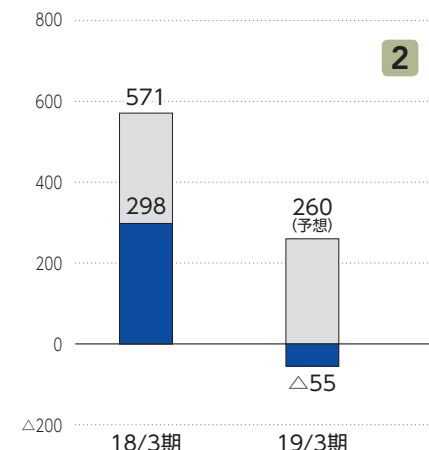
### 営業利益および営業利益率の推移

(単位:億円)



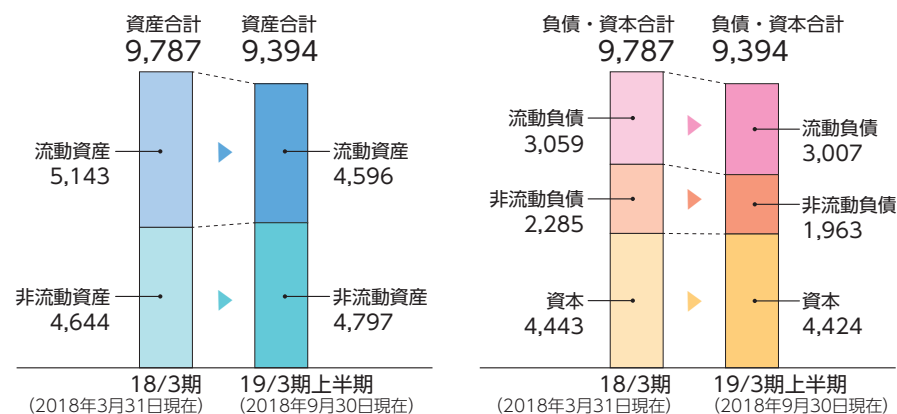
### 親会社の所有者に帰属する当期(四半期)損益

(単位:億円)



### 財政状態

(単位:億円)



## POINT

- 主力の医療事業が全社業績を牽引し、売上高は3%の増収
- 証券訴訟の和解等の影響により、減益

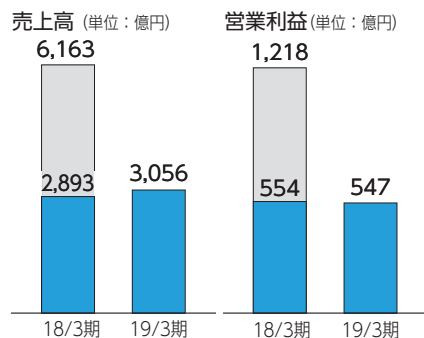
## 事業別の概況

### 医療事業

売上高 3,056 億円

営業利益 547 億円

■ 通期  
■ 上半期



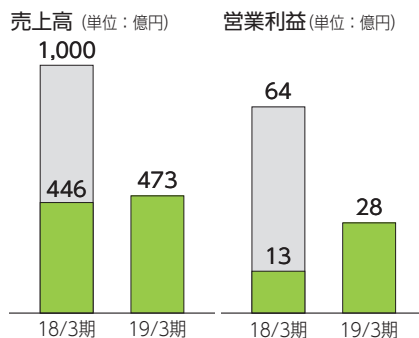
全分野で好調に推移し、上半期で過去最高の売上高を達成しました。営業利益は、米国司法省による十二指腸内視鏡関連の引当金を計上したものの、前年並みの水準を確保しています。

### 科学事業

売上高 473 億円

営業利益 28 億円

■ 通期  
■ 上半期



半導体、電子部品等、産業分野の市場環境が良好であり、工業用顕微鏡や非破壊検査機器の販売が好調でした。

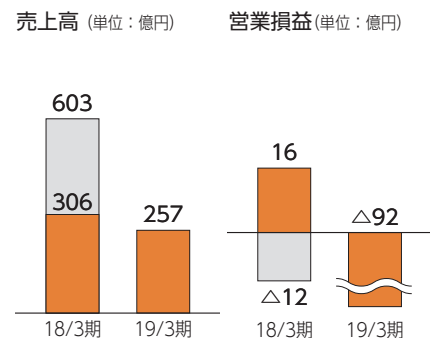
また、営業利益は、生物顕微鏡、産業製品ともに売上を伸ばしたため、大幅な増益となりました。

### 映像事業

売上高 257 億円

営業損益 △92 億円

■ 通期  
■ 上半期



競合環境の激化および中国生産子会社の再編等の影響もあり、減収・営業損失となりました。来期以降の黒字化構造の確立に向けて、中国からベトナム生産子会社への映像製品の生産集約は順調に進んでいます。

# 人にやさしい医療をリードする 内視鏡の主力製造拠点

会津オリンパスツアー

当社は、1950年に世界で初めてガストロカメラ(胃カメラ)を実用化して以来、世界中の医療現場に内視鏡を届けてきました。内視鏡は観察だけでなく、処置・治療もできる、体への負担を最小限に抑えた人にやさしい医療機器。その主力製造拠点が、会津オリンパスです。1970年に創立してから、一貫して内視鏡を製造しており、従業員は約2,000名にのぼります。医療現場を支えることに誇りと責任感を感じながら、日々内視鏡と向き合っています。



会津盆地のほぼ中心に位置します。屋上からは福島県のシンボルのひとつである「磐梯山」が見えます。



さまざまな部位に対応する内視鏡を製造しています。製品ラインアップは約400種類!



“世界の笑顔を支えたい”  
そんな思いをもって  
日々内視鏡を  
製造しています。

## 消化器系内視鏡世界シェア約70% 会津から世界へ

高度  
精密加工技術

匠の技

### 最新の「高度精密加工技術」

内視鏡には多くの複雑な形状の部品が使用されています。その加工や製造に用いる刃物や加工機で、既製品がない場合は、自社で開発。直径0.25mmのレンズ等、極小で微細な部品の製造も可能です。

### 熟練した技能者の「匠の技」

加工機の性能が向上しても、まだ機械では自動化できない領域があります。そこで活躍するのが技能者の卓越した「匠の技」です。内視鏡は体内で使われるため、安心・安全が最優先。その品質をベテランの技能者が支えるとともに、技術が継承されています。



## 生産エリア

技能者の勤務する部署、生産エリアです。  
匠の技で、精密な製品が作り上げられています。



内視鏡を製造するエリアは、「生産エリア」として区切られています。人の体内に入る内視鏡だからこそ、製造現場の環境には、最大限の注意を払っています。



内視鏡は多品種・少量生産。顕微鏡を覗きながら、微細な部品を一つひとつ丁寧に組み立てていきます。



1本の内視鏡に、なんと400種類の精密部品が使われています！



迷った時はすぐに先輩に相談できます。アットホームな雰囲気が魅力です。

## 技術フロア

高品質かつ安定的な製品づくりのために、日々多くの開発テーマに取り組んでいます。



開発部門で設計された新製品の量産化対応のため、製造工程の検討等を行います。



お互いに意見を出し合いながら、開発と現場にとっての最善策を考えます。年齢関係なく、率直に意見が言える職場です！

皆さん、会津オリンパスの様子は伝わりましたでしょうか？これからも自分の技術を磨き、メンバーと協力しながら、より良い製品づくりをしていきます！



すべての製造工程は、社内ライセンスを持った者でなければ作業をすることができません。さらに、さまざまな国家資格取得にも励んでいます。

## 会社概要

設立	1919年10月12日
資本金	124,606百万円
従業員数	34,723人(連結)
本店	〒192-8507 東京都八王子市石川町2951番地
本社事務所	〒163-0914 東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス (03)3340-2111(代表) <a href="https://www.olympus.co.jp/">https://www.olympus.co.jp/</a>
事業場	八王子市(東京都)、上伊那郡(長野県)、 西白河郡(福島県)
支店	札幌、名古屋、大阪、広島、福岡
営業所	新潟、松本、静岡、金沢、京都、岡山、 松山、鹿児島
海外拠点	アメリカ、ドイツ、イギリス、中国、 シンガポールほか

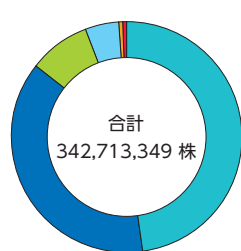
## 取締役

代表取締役社長執行役員	笹 宏行
取締役副社長執行役員	竹内 康雄
取締役専務執行役員	田口 晶弘 小川 治男
取締役常務執行役員	平田 貴一 藤田 純孝 片山 隆之 神永 晋 木川 理二郎 岩村 哲夫 榎田 恭正
社外取締役	

## 監査役

常勤監査役	古閑 信之 清水 昌
社外監査役	名取 勝也 岩崎 淳

## 株式の分布状況



外国人	164,000,958 株	47.9 %
金融機関	129,538,974 株	37.8 %
その他国内法人	30,288,711 株	8.8 %
個人その他等	16,081,424 株	4.7 %
証券会社	1,510,281 株	0.4 %
自己株式	1,293,001 株	0.4 %

## 株式状況

発行可能株式総数	1,000,000,000 株
発行済株式総数	342,713,349 株
株主数	27,571 名

## 企業情報アプリ「OLYMPUS NEWS」のご案内



OLYMPUS NEWSは、オリンパスの企業情報をタイムリーにお届けする公式アプリです。ニュースリリースとして配信した医療、科学、映像事業の新製品情報や決算情報やイベント、当社のカメラユーザーが撮影した素敵な写真などを毎日配信します。

App StoreやGoogle Playで「オリンパス」と検索しても見つけることができます。

iOS版▶  
(App Store)



Android版▶  
(Google Play)



### 投資家アンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、**アクセスナンバー**入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

ご回答いただいた方の中から抽選でQUOカード(500円)を進呈させていただきます。

投資家の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

●アンケート実施期間は、2019年2月28日までです。

▶パソコンから  
<https://q.srdb.jp/>  
アクセスナンバー [7733]

▶スマートフォン・携帯電話から  
右のQRコードを読み取ることで直接アンケート画面へアクセスできます。



▶メールから  
[enq@q.srdb.jp](mailto:enq@q.srdb.jp)へ空メールを無記入でご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

「ネットアンケート」は宝印刷株式会社が運営し、ご回答いただいた内容は宝印刷株式会社が管理いたします。

宝印刷株式会社については<https://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

※アンケートに関するお問い合わせ先 [kabu@takara-print.co.jp](mailto:kabu@takara-print.co.jp)

※平日17時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。

【個人情報の取り扱いに関して】

お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、個人情報に関する取り扱いに関する詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。